



皆さんとの継続的なコミュニケーションを大切にしています

国会見学
2011.7～12



号外 The Democratic Party of Japan

2012年1月 号外

民主党プレス民主編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本生活が第一

情報通信の発展、誰もが安心して暮らせる社会保障制度構築へ全力

昨年10月20日に召集された第179臨時国会は、東日本大震災からの本格的な復興をめざした第3次補正予算や復興特区法などを成立させた後、12月9日に51日間の会期を終えて閉会しました。昨年の国会開会日数は、通算で289日。大震災への対応もあり、ほぼ「通年国会」となりましたが、この長丁場の国会活動を乗り切ることができたのも、ひとえに皆さまからの温かいご支援のおかげです。あらためて、昨年1年間のお力添えに心から感謝申し上げます。



さて、2012年が幕を開けました。1月下旬には、早速、第180通常国会が開会されますが、大変重要な課題が山積しています。

まずは、平成23年度第4次補正予算案の審議があります。景気対策を中心に、エコカー補助金制度や中小企業の資金繰り対策、農業振興、そして70歳以上75歳未満の医療費窓口負担を1割に据え置いたための経費などを盛り込んだ2兆5000億円規模の補正予

算になる予定です。

また、臨時国会で積み残した重要法案にも早急に対応する必要があります。郵政改革法案、労働者派遣法改正案、公務員給与改定法案などは、優先案件として審議入りして、前に進めなくてはなりません。

そして、最も大きな課題は、平成24年度予算案と関連法案の審議です。政府与党内では、社会保障と税の一体改革議論を含めて、年末まで多くの時間をかけて取りまとめを行ないました。国民生活を守り、将来への安心を確保していくため、関連法案を含めた予算案が年度内に確実に成立するよう最大限の努力を尽くさなければなりません。

言うまでもなく、2012年も東日本大震災からの復興・復興、とりわけ東電福島原発事故収束への対応を確実に成し遂げ、被災された皆さんの生活に安心と安全を1日も早く取り戻すことが政治の最優先の課題です。そのためには、日本全体が元気になることが必要で、人と人、地域と地域とのつながりや支え合いを築き上げ、将来にわたり持続可能な経済成長、社会の発展をめざしていかなくてはなりません。

私も、被災地の復興に全力を尽くしながら、命をつなぐ情報通信の発展や、誰もが安心して暮らしていける社会保障制度の構築に向け一生懸命がんばります。今年もどうかよろしくお願い申し上げます。

民主党参議院比例区第63総支部長

参議院議員 石橋 みちひろ



「アピール21」の発展に全力

「アピール21」の会員の皆様には日ごろからご厚情賜り深く感謝申し上げます。皆さんの切実な声を国政に反映させることが私の最大の使命だと確信しています。「アピール21」のさらなる発展に向け、私も皆さんと一丸となって政治活動に全力をあげていく決意です。

みなさんに関心をもっといただくために...

国会見学お待ちしております!

国会議事堂内を見学し、政治の場を身近に感じてみませんか?
グループでも少人数でもかまいません。

【見学申し込みは】

参議院議員会館523号室 石橋みちひろ事務所
TEL: 03-6550-0523 FAX: 03-6551-0523



プロフィール

石橋みちひろ ▶ 1965年7月1日 島根県生まれ
2010年7月 第22回参議院議員選挙で初当選

現在 ▶ 民主党：幹事長補佐 所属委員会：厚生労働委員会委員、予算委員会委員、政府開発援助等に関する特別委員会理事
民主党政策調査会：男女共同参画調査会事務局次長、雇用対策WT事務局次長、原発事故収束対策PT事務局次長、復興PT雇用創出WT副座長、教育のICT化に関するWT事務局長 など
議員連盟：情報通信議連、ILO活動推進議連事務局次長 など
家族 ▶ 妻、長男、長女

HP/ブログ/
Twitterで
日々の活動を
更新中

公式ウェブサイト
http://www.i484.jp/
E-mail ishibashi@i484.jp
Twitter: ishibashi2010
http://twitter.com/ishibashi2010

2011年7~12月 主な出来事

7月	7月2日	民主党「雇用対策WT」で、福島県視察
	7月5~10日	フィリピン・マニラを視察訪問
8月	7月24日	岡田幹事長の随行で、福島県視察
	8月2日	福島原発作業員の安全・健康管理問題～細野豪志・原発事故担当大臣への申し入れ
	8月10日	参議院「沖縄及び北方問題に関する特別委員会」で質問
	8月25日	民主党「働き方改革WT」で、「均等待遇のあり方問題」について小宮山洋子・厚生労働副大臣に申し入れ
	8月29日	民主党代表選挙 野田佳彦衆議院議員が新代表に
9月	9月2日	野田新内閣の閣僚決定
	9月8日	民主党「仮設住宅等生活支援対策チーム」で、宮城県視察
	9月12日	福島原発作業員の安全・健康管理問題について小宮山洋子厚生労働大臣に申し入れ
	9月30日	第178臨時国会 閉会
	10月18~19日	参議院民主党研修会・福島県視察
10月	10月20日	第179臨時国会 開会
	10月27日	参議院「厚生労働委員会」で質問
	11月17日	参議院「予算委員会」で質問
11月	11月21日	参議院本会議で第3次補正予算成立(本会議で賛成討論に立つ)
	12月3日	ILO活動推進議員連盟としてファン・ソマビアILO事務局長と京都で会談
12月	12月6日	参議院「厚生労働委員会」で質問
	12月9日	第179臨時国会 閉会

◆政治学習会報告(7~12月)◆

政治学習会は支援者と双方向の意見交換ができる貴重な場。会期中は数少なくなります。なるべく時間をつくり、交流を図りたいと思っています。7~12月には8つの組織で講演をしました。

- 情報労連北海道協議会拡大幹事会
「昨今の政治動向と大震災後の活動展開」(7.3)
- NTT労組ドコモ本部ドコモ中央分会中堅組合員研修
「海外の労働事情から学ぶ労働組合の役割」(8.3、8.12)
- NTT労組東京総支部南エリア分会全役員会議
「震災復興とICTの利活用」(10.8)
- NTT労組ドコモ本部ドコモ中央分会全役員会議
「私たちの生活と政治のかかわり」(10.12)
- NTT労組東京総支部中エリア全役員会議
「震災復興とICTの利活用」(10.16)
- NTT労組東京総支部東エリア全役員会議
「震災復興とICTの利活用」(10.22)
- NTT労組コミュニケーションズ本部ユースコース
「私たちと政治のかかわり」(10.30)
- 情報労連愛知県協議会第1回全単組代表者会議
「国政報告：情報通信政策の動向と労働政策を中心に」(11.12)



補正予算の成立へ 全議員に賛成を訴える

参議院本会議で賛成討論、第3次補正予算が成立

東日本大震災の復興費、台風12号等災害対策費、B型肝炎ウィルス感染者給付金など総額12.1兆円の歳出を追加する今年度第3次補正予算が11月21日の参議院本会議で、一部野党を除く与野党の賛成多数により可決・成立しました。

この本会議で、会派を代表して賛成討論に立ちました。被災地に初めて入った際、被災者から「生き残った私たちが必ずこの地を再建する。全力で応援してほしい」と声をかけられたことを紹介しながら、「被災された皆さん方に、復興への確かな足音と、明日への大きな希望を感じながら新しい年を迎えていただければ、ぜひ満場一致で第3次補正予算にご賛同いただきたい」と、全議員に賛成を訴えました。

第3次補正予算の成立で、さまざまな復興施策が実行に移されますが、1日も早い復興のために引き続き、私たちも全力を尽くして取り組んでいきます。

参議院議員 石橋通宏

国政活動報告



本会議で賛成討論(2011.11.21)

参議院議員 石橋通宏

年金問題 財政の現状、国庫負担1/2による安定化^なと政府の考え質す

厚生労働委員会で質問

2年目に入り参議院・厚生労働委員会に所属してからすでに2回、質問に立ちました。

まず10月27日には、小宮山洋子厚生労働大臣の大臣所信に対する一般質疑で、民主党を代表して質問。また、12月6日には、『国民年金法等の一部を改正する法律等の一部を改正する法律案』について質問に立ち、①年金財政の現状②「国庫負担二分の一による安定化」の意味③年金財政は健全であるのに、現行制度の改善が必要な理由——などについて政府の説明を求めました。加えて、小宮山厚生労働大臣に対し、12月

4日から京都で開催された第15回ILOアジア太平洋地域会議の意義や、開会式で野田総理大臣が社会保障制度改革に向けた決意を述べたことに対する厚生労働大臣としての受けとめ、さらにはフィジーにおける深刻な労働組合権侵害への対応についての考え等も聞くことができました。



国民の命を守るライフラインとしての情報通信の役割と政府の政策を問う

参議院予算委員会で初質問



11月17日の参議院予算委員会で、平成23年度第3次補正予算案に関する一般質疑の質問に立ち、国民の命を守るライフラインとしての「情報通信の役割」について、川端総務大臣と古川国務大臣に政府の見解と具体的な方針を質しました。両大臣からは、①東日本大震災の教訓を活かし、災害に強い情報通信基盤やサービスの構築を被災地だけでなく全国で進めていくこと②ICTの利活用によって人と人、地域と地域のつながりを強化し安全と安心を確保していくこと③それによって災害対策の強化だけでなく新成長戦略の実現にもつなげていくこと——などの決意を引き出しました。

ILO議連の活動から

ILOとの連携・協力関係を強化

ファン・ソマビアILO事務局長と会談

ILO第15回アジア太平洋地域会議が12月4~7日、京都で開催されました。同3日には私が事務局次長を務めるILO活動推進議員連盟(ILO議連)がファン・ソマビアILO事務局長と会談を行ない、ILOとの連携・協力関係の強化を図りました。ソマビアILO事務局長からは、東日本大震災後の復旧・復興の取り組みに対して非常に強い賞賛の言葉をいただきました。また、アジア太平洋地域の今後について、「今やG20のうち6カ国がアジア太平洋地域の国々となって、政治的な役割も高まっていく。今後は世界の政治家と対峙して、世界的な対話の中でILOのアジェンダを追求・確保していけるようなILO指導者が地域に必要である」との強い期待感が表明されました。



これらの言葉を重く受けとめ、議連としても超党派の枠組みを大切にしながら、日本国内はもとより、アジアや世界におけるディーセントワークの実現に向けて取り組みを活性化させていきます。